



みやき町

こんにちは **議会** です。

2022.9月議会

No.60



Contents ・ 主な内容 ・

第3回定例会	2
一般質問、10人が町政を問う	8
議会広報研修レポート	19
議員の横顔、編集後記等	20

議員の横顔

左から よしむら てつお 吉村 哲雄 議員、ながせ のぶひろ 長瀬 宣宏 議員、めの 目野さとみ 議員、たけだ みつくに 武田 光邦 議員

(最終ページに表紙議員の一問一答を載せています)

各庁舎、こすもす館ロビーに設置のテレビで議会中継を視聴できます。
また、スマートフォンやタブレット端末でもインターネット議会中継を視聴できます。

みやき町議会中継

検索



令和4年第3回定例会

9月定例会は5日から14日まで行われ、条例改正や補正予算、人権擁護委員の任命、意見書案などを審議し、いずれも可決しました。賛否一覧は7ページに掲載しています。

条例改正

申告書、課税方式 特別控除の見直し

令和4年度の税制改正大綱^{たいこう}による法改正に基づき令和5年1月以降改正されます。

- ・扶養親族等申告書等の記載事項の見直し
- ・上場株式等の配当所得等に係る課税方式の見直し
- ・住宅ローン等特別税額控除の延長及び見直し

条例改正

みやき町職員・非常勤職員 の育児休業の取得要件緩和

仕事と育児等を両立できるようにするため、法の改正に基づき令和4年10月から改正されます。

改正内容は、育児参加のための休暇取得期間の拡充や、子の出生後の育児休業の取得回数制限の緩和など。

夫婦交代で柔軟な育休の取得を可能とする改正です。

工事請負契約 1億8260万円

綾部南地区の下水道工事

県道 佐賀川久保鳥栖線及び町道綾部原古賀線内に汚水管を築造する工事です。



工事請負契約 1億1220万円

中原体育館の改修工事

令和6年度に行われる国民スポーツ大会で、バレーボール少年男子の会場となる中原体育館の改修です。

体育館の床の張替えやトイレのバリアフリー化、照明のLED化の工事が行われます。



物品売買契約 1429万円

みやき町消防団 消防車の購入

購入後20年を経過する北茂安分団第1部と第2部の2台の車両の買い替えです。



一般会計 補正予算

一般会計補正予算では、新型コロナウイルス感染症対策や、物価高騰の影響による給食費支援などの追加費用が計上されました。主なものは次のとおりです。

企業人材派遣制度負担金

380万円

企業人材派遣制度を活用し、民間のスペシャリスト人材を受け入れ、町全体での『スポーツ等を通したまちづくり』を推進していくための費用です。

マイナンバーカード申請促進

998万4千円

国によるマイナポイント事業終了後の普及対策として、事業終了後に申請された方に1,000円相当のクオカードが配布されます。



住民税非課税世帯等に対する 臨時特別給付金

1784万円

住民税均等割非課税世帯や新型コロナウイルス感染症の影響で家計急変のあった世帯を支援する給付金です。

保育所等の給食費を支援

488万7千円

原油価格・物価高騰への対策として、保育園等の給食での原材料費高騰分に対する補助です。

町内7か所の私立保育園、認定こども園、地域型保育事業所が対象です。



保育園の給食

新型コロナウイルス感染防止 対策用品等の補助

355万円

町内の保育園、児童館等の、コロナ感染防止対策用品などの購入経費を支援します。

- 私立保育園等 285万円
- 公立保育園 40万円
- 児童館 30万円



感染防止対策

オミクロン株に対応した 新しいワクチン接種

1億1890万円

4回目の接種対象者が拡大されました。
オミクロン株に対応した新しいワクチンの追加接種が始まります。



こすもす館でのワクチン集団接種

森林整備センター造林事業 委託料（増額）

64万6千円

主伐※に向けた作業道を整備するときに出る、支障になる木や間伐材について、販売可能な樹木を搬出する費用の増加によるものです。

※主伐…森林の樹木を木材とするために伐採すること。

骨髄バンク事業への補助

28万円

ドナー※の経済的負担軽減と骨髄移植の支援、ドナー登録者の増加をはかるための支援です。

※ドナー…骨髄移植等のために骨髄を提供する人。

介護・福祉などの施設整備に補助

773万円

防災改修などの施設整備を行う認知症高齢者グループホームへの支援です。

埋蔵文化財の発掘調査

445万1千円

個人の開発に伴う文化財発掘調査業務に対する埋蔵文化財発掘調査費です。



文化財発掘作業

図書の購入

50万円

企業や個人から、図書充実のためにいただいた寄附から、図書を購入します。



中原図書館

特別会計 補正予算

特別会計補正予算は、主に令和3年度の繰越金が確定したことに伴う、一般会計からの繰入金・繰出金の調整です。



特別会計	増減	合計
国民健康保険	1億 497万6千円	38億7397万5千円
下水道事業	増減なし(財源の調整のみ)	20億9276万9千円
工業用地取得造成事業	39万7千円	8607万4千円
グリーンパーク推進整備事業基金	7500万円	1億4737万5千円
後期高齢者医療	265万円	4億7022万5千円
住宅用地取得造成事業	602万2千円	975万3千円
ふるさと寄附金基金	1億8990万2千円	66億7760万4千円

みんなの人権守りまーす!!

～みなさまに寄り添う人権活動を行います～

人権擁護委員候補者の推薦

再任

さかい たかし
酒井 隆司 さん (大字西島 光楽寺住職)

議会の同意ののち、町長が法務大臣に推薦をし、
法務大臣の委嘱を受けて正式に任命されます。

任期は令和5年1月1日から3年間です。

よろしくお願ひします!

皆さんの“暮らし”が良くなるように 国にお願いしました

◎地方財政の充実・強化に関する意見書

全員賛成

【内容】

- ・ 社会保障の維持・確保、防災・減災や地域の活性化などに必要な町の財源の確保を図ること
- ・ 子育てや医療・介護・生活に困っている人の自立支援や、みやき町の事業を実施するための“お金”の支援を求める
- ・ コロナ対策も国の仕事として十分に町の意見を聞きながら実施していくこと

その他全10項目を議会として国の関係大臣等に提出しました。

ロシアのウクライナ侵攻に端を発する 食料・資材等高騰に“国の支援”拡充を!!

◎燃料・肥料・飼料価格高騰等対策に関する意見書

全員賛成

今、直面している様々な農政や農業生産基盤の維持・強化、食料安全保障の強化達成のため、国にお願いするもの。

【内容】

- ・ 燃料価格が高くなり、施設園芸等に大きな影響が出ているので、令和5年度以降も補助を続けていただきたい
- ・ 肥料、飼料も価格安定のため財源措置をして末永く農業が続けられるような農政の取り組みを求める

その他全4項目について国と県に対し、意見書を提出しました。

賛否一覽

第3回 定例会	賛成：○ 反対：× 欠席：欠 除斥：除 (議案に直接利害関係のある 議員は議事に加われない)	議員氏名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
			末次 優	西村健 一郎	長瀬 宣宏	吉村 哲雄	武田 光邦	目野さ とみ	岡 友清	大石 安弘	牟田 秀文	古賀 通	園田 邦広	宮原 宏典	松信 彰文	平野 達矢	益田 清	岡 広明
議案番号	件名	採決結果	賛否の状況															
認定第1号	令和3年度みやき町一般会計歳入歳出決算認定について	継続審査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	欠	-	-	-	-	-	-
認定第2号	令和3年度みやき町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	欠	-	-	-	-	-	-
認定第3号	令和3年度みやき町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	欠	-	-	-	-	-	-
認定第4号	令和3年度みやき町工業用地取得造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	欠	-	-	-	-	-	-
認定第5号	令和3年度みやき町グリーンパーク推進整備事業基金特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	欠	-	-	-	-	-	-
認定第6号	令和3年度みやき町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	欠	-	-	-	-	-	-
認定第7号	令和3年度みやき町住宅用地取得造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	欠	-	-	-	-	-	-
認定第8号	令和3年度みやき町ふるさと寄附金基金特別会計歳入歳出決算認定について	継続審査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	欠	-	-	-	-	-	-
議案第35号	みやき町職員の勤務時間、休暇等に関する条例及びみやき町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第36号	みやき町税条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第37号	工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	○	○	○	-
議案第38号	工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第39号	物品売買契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
議案第40号	令和4年度みやき町一般会計補正予算(第4号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第41号	令和4年度みやき町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第42号	令和4年度みやき町下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第43号	令和4年度みやき町工業用地取得造成事業特別会計補正予算(第1号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第44号	令和4年度みやき町グリーンパーク推進整備事業基金特別会計補正予算(第1号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第45号	令和4年度みやき町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第46号	令和4年度みやき町住宅用地取得造成事業特別会計補正予算(第1号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第47号	令和4年度みやき町ふるさと寄附金基金特別会計補正予算(第3号)について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議第4号	地方財政の充実・強化に関する意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
発議第5号	燃料・肥料・飼料価格高騰等対策に関する意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※議長は賛否の意思を表示することができません。採決の結果、可否同数の場合は議長が裁決権を行使します。

一般質問 町政を問う

一般質問とは、定例会において議員が町の行財政全般について、町と政策討論するものです。令和4年第3回定例会の一般質問は10人が行いました。

各議員のページには、『QRコード』と『SDGsの17目標のロゴマーク』を掲載しています。QRコードからは録画映像をご覧いただけますので是非ご利用ください。（掲載は登壇順）

議員	質問要旨
長瀬 宣宏 (9ページ)	1. 行政職員における働き方改革について 2. 移動販売の状況について
園田 邦広 (10ページ)	1. マイナンバーカードの普及促進について 2. 町道中原～板部線について
末次 優 (11ページ)	1. 定住総合対策について 2. みやき町中長期財政計画について
牟田 秀文 (12ページ)	1. 近年の浸水被害防止のための施設として市原地区の蓮池を調整池として活用を 2. デジタル行政におけるマイナンバーカードの普及活用について 3. 消防団活動と現状について
武田 光邦 (13ページ)	1. 農業用ため池の安全対策について 2. 学力テストについて
平野 達矢 (14ページ)	1. 当初予算と日本経済から見る令和4年度以降の中長期財政運営のあり方を伺う
大石 安弘 (15ページ)	1. ふるさと寄附金は慎重に 2. 防災マップの利活用について
西村健一郎 (16ページ)	1. ふるさと納税返礼品について
宮原 宏典 (17ページ)	1. ふるさと納税返礼品について 2. 水害対策について
目野さとみ (18ページ)	1. 買い物支援・高齢者等の移動支援について 2. 男性用トイレへのサンタリーボックスの設置について 3. 防災について



・稲穂のさお掛け（山田地区）



・そばの花畑（東尾地区）

行政職員の働き方改革を問う

移動販売の状況について



8 働きがいも 経済成長も

問

魅力ある職場環境づくりに取り組みます

答



長瀬 宣宏 議員



問 年休・育休の3年間の取得状況は。

答 年次休暇の平均取得日数は、令和3年度10・9日、令和2年度9・5日、令和元年度10・3日となっております。

問 育児休業の取得状況は。

答 育児休業は、出生した子どもを養育するため子どもが3歳になる日までの間で取得することができですが、令和3年度の取得状況は、男性職員1名、女性職員9名、うち2名新規取得、計10名が育

児休業の取得中となっております。

問 衛生委員会の開催と産業医の巡回はどのようになっているか。

答 町では、労働安全衛生法に基づき、みやき町職員安全衛生管理規定を定め、職場における職員の安全及び健康を確保することともに、快適な職場環境の形成を促進するため、必要な措置を講じています。

衛生委員会は、安全衛生管理者に副町長、職務代理者に総

務部長、衛生管理者に各施設の主管課長及び保育園長、衛生

推進者として職員代表8名、産業医の15名で構成していま

す。 毎年度開催する委員会では、職員の生活習慣病予防検診結

果、病気休暇・休職の状況、ストレスチェックの結果、年次有給休暇の取得状況、時間外勤務の実施状況等を確認し、必要な対策改善策等を協議しています。

があつた場合、対応はどのように行うのか。

答 セクハラ・パワハラは、相手の意に反する性的言動、職務上の地位等により

人格や尊厳を傷つけるような言動のことですが、その判断の基準としては、言動

を受けた本人がハラ・コメントを受けたと感じた場合には、該当するものと考えます。疑われるような言動が無いよう意識を常に持つておくことが大切かと考えます。

相談窓口として、

町長部局、教育委員会部局、議会事務局など全ての部局が相談窓口となり、相談

員は全管理職が対応することとし、所属部署に関係なく相談できる体制をとっています。

問 移動販売の利用状況を教えてください。

答 最多は1週目の利用者で177名、最少はお盆の週の61名、7週合計974名の利用がございました。地区の状況を把握して、地域の回り方や時間等を利用しやすいように、10月変更に向け委託業者と一緒に協議しているところですよ。





園田 邦広 議員



問

マイナンバーカード普及は町財源確保の一つだ

答

普通交付税算定の反映に不利益を被らないよう普及向上に事業推進を図っていく

問 国は、令和5年度より各自治体のマイナンバーカードの普及率に応じて普通交付税算定に反映すると明言されている。7月22日の佐賀新聞報道では、みやき町の普及率は41.6%であり県内では下から4番目となっている。今後の取り組みをどのようにして普及率を上げるのか。

答 広報やチラシ、ホームページ等の掲載、出張申請サポートでは、みやき町内の金融機関を始め三養基高校、保育園、

幼稚園の職員の方を対象に行った。今後は各区長さんの協力を得て57地区全ての公民館に何う予定としている。

問 他の自治体では小中学生にも取得してもらったため出張申請をお願いしている。その際には保護者にも趣旨を説明し

納得していただくことが大切である。

答 若年層の普及は学校教育等と連携し土曜日・日曜日、延長窓口を特別に開設し、保護者と一緒に申請してもらう。

町道中原板部線について

問 この道路整備は町道白石西寒水線を起点に県道中津隈原古賀線に合流する地点まで総延長1900mで現在工事の進捗率は53%となっている。

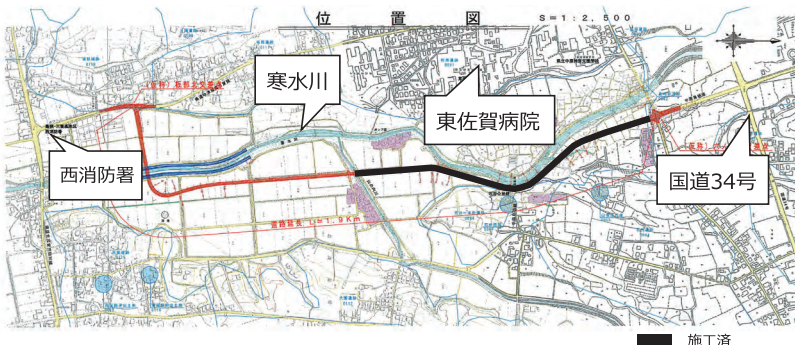


各公民館での出張申請サポートの様様

答 申請が遅れた方は、マイナンバーカードの交付時に1000円分のクオカードを配布する予算を9月補正に計上しているのか。

答 申請が遅れた方は、マイナンバーカードの交付時に1000円分のクオカードを配布する予算を9月補正に計上しているのか。

計画道路全体図 (令和4年3月現在)



答 用地の未買収、西尾橋架け替え工事完了後、西尾橋上流の河川改修工事が計画されており、中原板部線の橋梁設置との調整が必要である。

町民は1日でも早い完成を願っている。



末次 優 議員



問

中長期財政推計を見て、今後の対応は？

答

国の動向に目を配り対応する

用の確保、そして豊かな自然環境をアピールしていくことが町全体の人口増につながると思われる。

問 現在のみやき町はふるさと寄附金に依存した財政状況だと感じる。将来、制度変更や制度廃止などがあつた場合どう対応するのか？

勘案しながら基金の目的にあつた形で活用していきたい。

みやき町の人口が令和17年に2万人を切るとの予測が発表され、定住総合対策が実施された。その内容は？

宅地分譲5事業89区画、町による宅地分譲8事業58区画を整備している。

民間の資金と経営能力・技術力を活用したPFI手法による定住促進住宅の整備は、子育て世代を

主軸とした中堅所得者を対象に「地域優良賃貸住宅」では平成26年度から三根校区を中心に1800戸、内訳は集合住宅を152戸、戸建住宅を31戸整備している。

また、道路は地域をデザインするものであると考える。現在、豆津橋4車線化の対応を推進中で、中原・三根線等の充実化を図っていくことで周辺地域からの人口流入が期待できる。

答 今後も効果的な行政、安定的な財政運営に努めていくため、国の動向、制度の改廃・創設に目を配り対応していきたい。

仮定した場合は、經常費と位置付けられる事業であつても聖域を設けることなく、事業の継続、縮小及び廃止など検討を重ねる必要があるものと認識している。

答 町有地の売却、PFI手法による町営住宅建設、町の誘導による民間宅地開発を行った。(計697区画・戸)

また、町の誘導による民間の宅地開発は、中原校区145区画、北茂安校区189区画、三根校区33区画の計367区画の宅地分譲が行われている。

また、町の誘導による民間の宅地開発は、中原校区145区画、北茂安校区189区画、三根校区33区画の計367区画の宅地分譲が行われている。

みやき町には豊かな自然があり、自然環境の保護、農業振興、伝統工芸の後継者育成をすることも、雇用の確保、住宅環境を守っていく、それをアピールしていくことが人口増加につながる手立てだと考える。

定住総合対策について

問 平成23年に公表された人口推計で

問 平成23年に公表された人口推計で



PFI手法による定住促進住宅

答 産業や農業・雇

問 宅地開発以外で定住につながる施策は考えているか？

また、道路は地域をデザインするものであると考える。現在、豆津橋4車線化の対応を推進中で、中原・三根線等の充実化を図っていくことで周辺地域からの人口流入が期待できる。



牟田 秀文 議員



問

浸水被害防止のため蓮池を調整池として活用を

答

地元の意見を伺い調査検討していく

消防団員の活動と現状について

問 消防団を取り巻く環境は厳しさを増している。団員の減少・高齢化が進む中、時代に即した消防団の在り方について伺う。

答 現時点で544名の団員で10代が2名、20代82名、30代192名、40代198名、50代67名、60代が3名となつている。人数が減少しているのは承知している。報酬の改定など順次見直し、待遇改善、処遇改善に努め、地域の消防を維持し、環境づくりについて団員の方へのアンケートも含め幹部会で検討していく。



蓮池公園(視点場付近)の繁茂状況

があつた。水害対策を兼ねて今後検討していただきたい。

答 町としては貴重な景観を保っているエリアで今後も大事にしたい。県の補助金を使って水害対策に関する全体的な調査をし、地元の方々と話し合いながら探っていく。

る流域治水に関する調査など総合的に勘案し、優先順位をつけ、優先度の高いところから対応したい。また蓮池も地元の皆様のご意見も伺い提案の事項を調査検討したいと考えている。

問 近年の想定外の大雨により江口地区に連続して甚大な浸水被害が発生している。その緩和策の1つとして、干拓川の上流にある蓮池を景観を兼ねて再整備し、貯水量アップによる災害対策を早急に行っていくことが第一と考えるが、町としての方針は。

答 近年は大雨に続けて見舞われ、浸水による被害が発生している。今後の対策は町全体に目を向けて検討していく。今後実施を計画してい

マイナンバーカードの本町の取り組みは

問 マイナンバー制度は国民の利便性を高め行政を効率化し、公平かつ公正な

社会を実現する重要な社会インフラであり、これらの機能を十分発揮させるため、普及が不可欠である。本町においても41.1%と全国平均を下回っている。本町の取り組みと申請や交付窓口の状況は。

答 令和4年7月末日の申請状況は1万1711件、申請率が45.48%。今後DXを推進し行政の業務効率化を図りたい。

普及促進の取り組みは、毎週水曜日の延長窓口、土・日曜日の臨時窓口受付、さらに全地区で出張申請を行う予定。

本町の51の医療機関のうちマイナ保険証対応の医療機関は8か所。プロジェクタチームを立ち上げ町をあげて交付率アップを目指したい。



武田 光邦 議員



問

農業用ため池の防災対策について

答

ため池特措法に基づき整備を行う

問 農業用ため池の数と安全対策の現状は。

答 町内には28か所の農業用ため池がある。令和2年度までに住民の意見を反映するためワークショップを開催し、ため池ハザードマップを制作し関係地区へ配布した。周知啓発を図るため安全看板の設置事業を進めている。

問 誰もに住み続けたい、魅力あるまちづくりの実現に向けて、防災対策・方針は。

答 大雨水害被害で

の最悪のケースは筑後川堤防の決壊、山間部では、大規模な崖・土砂崩れ、土石流及びため池堤体の決壊が考えられ、国

として連携し、最悪の災害のケースを未然に防いでいきたい。



学力テストについて

問 4月に実施された学力テストとはど

ういうものか、また、みやき町の結果は。

答 学力テストとは、文科省が全国の小学6年生と中学3年生

全員を対象に実施する「全国学力・学習状況調査」で、学力だけでなく学習環境や生活環境のアンケート調査も行う。目的は、教育施策の成果と課題を検証し、指導の充実や学習状況の改善に役立てる。

みやき町の結果は、教科や学年によって全国平均を上回っているものがあり、小学6年生の結

果はすべての教科で上回っていた。

問 全国学力テストの結果を踏まえたみやき町の取り組みは。

答 現行の学習指導要領に基づいた授業改善では、社会に出てからも学校で習ったことを生かせるよう基礎知識や技能を身につけさせながら、児童生徒が自ら考え、話し合うことを重視し授業を改善している。自己肯定感の向上では、児童生徒に役割や出番を与え、プラスのフィードバックを実施し

ている。家庭学習について、小学校では適切な宿題を課し、中学校では定期考査に向け、自主的・計画的に学習する習慣が身に付くよう指導している。

問 教育長から今回の質問の総括をお聞きたい。

答 質の高い授業とは、一、授業の目的が明確であること、二、目的達成のための道筋がしっかり計画されていることである。加えて、先生には授業を成立させるための指導技術を向上させていくことが求められている。教職員に様々な研修や実践を継続、徹底して取り組ませ、子どもたちの学力向上を図ってきたい。



平野 達矢 議員



問

当初予算から見る中長期財政運営

答

全職員が情報を共有

問 日本経済が厳しくなる中、地方交付税による財政運営を行っている本町もその影響が大きくなると考えると考える。他町にも勝る行政サービスを継続していくために、全職員が共有する中長期財政計画が必要である。次の点について伺う。

(一) 一般会計からの基金繰入れの考え方。

答 基金の目的に沿った事業への財源として活用しつつ、計画的な積み立てを行い、また財源としての依存度を徐々に解消しながら基金が枯渇することなく、長期的に活用できるような財政運営を行う。

問 (二) 経常収支比率の行方。

答 一般会計における経常経費に充当したふるさと寄附基金繰入金を一般財源で実施した場合、令和元年度101.8%、令和2年度が98.4%、令和3年度が93.4%。現在一般会計で実施するふるさと寄附基金からの充当事業の財源充足を見直し、経常的経費への充当額

問 (三) 地方交付税制度の方向性を危惧するが。

答 令和2年度より一本算定へ移行したが総額は増額している。現在ふるさと寄附基金繰入れにより、多くの質の高い行政サービスを提供しているが、制度廃止や、財源も無いとなれば、聖域を設けることなく事業の縮小・廃止等を検討することが必要になると思う。



ならないよう頑張りま～す。～議会一同～

問 (四) 人事管理と適正な職員数の改善。

答 8月1日現在で一般職208名、任期付職員36名、フルタイムの再任用職員

8名の合計252名。類似団体別指標では多い方に属する。3庁舎方式が要因のひとつであり、今後中長期的に職員数の推移を踏まえ、業務事業を精査しながら適正な人員配置を進めていきたい。

問 (五) 行政改革推進委員会の運用。

答 令和4年7月29日に町長を本部長とする行政改革推進本部を開催し、その中で行政改革の必要性を認識し、行政改革に取り組むことを

決定した。現在、実施している事業の必要性、費用対効果等の検証を行うための事業評価を行っている。10月を別途にみやり行政改革推進委員会を開催し、事業評価について調査審議をお願いしたい。





大石 安弘 議員



問

ふるさと寄附金の返礼事業者選定は慎重に

答

国基準と町独自の要綱を遵守し
適性な推進に努める



坂口地区東側堤防

問 ふるさと寄附金の返礼事業者については、5月に規定を設け厳正に決定していくとのことでしたが、8月22日西日本新聞のトップ記事として、「返礼品は海外製家具、ふるさと納税の趣旨外れる」とのことで町の信用の失墜につながる記事が掲載された。住民からは真意をただしてほしい、疑念を晴らしてほしいとの要望もあり質問に至っているが、家具製品に問題はないのか。また、寄附金に対

する、町の経費負担割合が県内で一番高いが、原因と対策は。振興協会の業務を外部委託から内製化されたがその効果は。
答 毎年10月1日を基準日として、返礼品名、事業者名、寄附設定金額や地場産品基準に合致しているか、総務省と協議中。

ことが主な原因と考えるが、今後50%以内に収まるよう努力する。
振興協会への委託費は、昨年度1・8億円から今年度1・3億円として予算を組んでいるので、その効果は出ていると考える。
問 総務省としては、返礼品は寄附額の3割以下、返礼品を含めた経費は5割以下とルール化されているので遵守を。再度、停止処分を受けないように。また、ふるさと寄附金の業

務が、振興協会任せになりすぎていると思えるので、管理指導をしっかりと。
答 総務省と対面で協議した段階では、ルール違反は無いと言える。ただ、報道を受けたことで追加調査が来ている。振興協会の業務内容については今後も積極的に関与していく。

防災マップの利活用について

問 全世帯に立派な防災マップが配布され、危険箇所等も詳細に指定されているが、この危険箇所の改善は進められているか。
答 防災マップについては、浸水する危険箇所、土砂災害の危険がある区域が示され、事前に安全な避難経路を確認していただき、早期避難の呼びかけを行っている。

問 災害に遭遇した際に安全に避難されることを優先に作られたということだが、危険箇所もマップ内で明確になっているので、危険箇所の改善を進めていくべきではないか。
昭和28年の水害はみやき町内にも大きな被害があり、特に三根校区坂口では家屋が流される被害を受けられたと聞く。その坂口地区では拡大する災害に備え、脆弱な堤防の強化を町を通じ国に要望されているとのことだが、是非実現に向けて努力してほしい。
答 9月20日に区長ほか役員と建設課が同行して、筑後川河川事務所長に要望活動を行う。



西村健一郎 議員



問

ふるさと納税返礼品について

総務省の基準を守った返礼品を出品している

答

者が納入業者として事業を行っている。町内外計77事業者の取り扱い品目は加工品が22社、米・野菜・果物が17社、肉・魚介類が15社、日用品15社、家具家電が3社、その他の品目が5社となっている。今回、報道された2社の納入業者は現在も納入事業を継続している。

問 8月22日の西日本新聞第一面にて報道された「返礼品は海外製家具」（みやき町が海外などで生産された家具に組み立てや加工を行って、ふるさと納税の返礼品として出品しているという記事）について伺う。全体として、現在の納入事業者の状況はどうなっているのか。

答 令和4年5月に策定した「ふるさと納税返礼品取扱事業者募集要綱」に基づき選定された町内66事業者、町外11事業者が納入業者として事業を行っている。町内外計77事業者の取り扱い品目は加工品が22社、米・野菜・果物が17社、肉・魚介類が15社、日用品15社、家具家電が3社、その他の品目が5社となっている。今回、報道された2社の納入業者は現在も納入事業を継続している。

問 今回報道された返礼品と納入業者について、町内のどこで作業をしているのか、従業員はどの程度か。またどのよう

な加工を行っているのか。

答 2社はそれぞれ大字白壁、大字中津隈に事業所を構えて作業を行っている。それぞれ従業員数は5名（繁忙期10名）、2名（繁忙期3名）。加工については光触媒を用いた抗菌加工を行っている。現在、使用している光触媒は佐賀大学の特任教授によって開発された技術を基に佐賀県内の民間企業が独自の技術を加え、進化させたものである。光触媒は太陽光や蛍

光灯などの光が当たること、その表面に強力な酸化力・親水性が生まれる環境浄化の技術となっている。この加工によって返礼品に付加価値を加えて、総務省が定めている自治体内での加工割合（5割以上）を達成しているかと判断している。また、出品している製品の返礼品割合も3割以下の基準を守っているのではない。各納入業者を管轄する「ふるさと振興協会」についても町の職員が事務

局長を務め、町と緊密に連携して管理運営を行っている。

問 海外製家具を町内に持ち込んで加工を行うことは問題ないという事は解ったが、みやき町独自の産業の創出にはつながらない。その点をどのように考えるのか。

答 町内での事業者育成に資するよう、ふるさと納税であるべきだと考えている。ゼロベースからの産業育成、生産から加工・販売まで、一気通貫に立ち上げ

るのは困難ではあるが、行政の仕事としてはしっかりと取り組んでいきたい。返礼品事業者に対して設けた基準を守ってもらいながら、地域の事業者の努力によって新しい商品が生まれていく環境を整えていく。それに並行して、みやき町内の事業者が実施可能な加工リストもふるさと振興協会で作成している。大手のメーカーに地域の事業者を下請として紹介できる準備もしている。これによって、ふるさと納税の返礼品として出品できる製品の拡充も進めていきたい。

答 町内での事業者育成に資するよう、ふるさと納税であるべきだと考えている。ゼロベースからの産業育成、生産から加工・販売まで、一気通貫に立ち上げ



宮原 宏典 議員



問

ふるさと納税の趣旨外れの記事
町は強く抗議せよ

答

国基準に合致しておりグレー商品は
ない記者会見で町民に説明する

な部分を行うことに

より相応の付加価値
が生じているものに
合致していると認
識している。

問 新聞社は何が目
的に一読者の特命取
材班投稿を基に一面
トップと三面で報道
したのか、町は後で
知ったとのことだが

新聞社に強く抗議す
べきだ。

記事の返礼品会社
は令和2年秋頃から
家具を出品、会社は
週2日間程度の操
業、11月12月が最盛
期のようだが地場産
業振興とは思えな
い。事業の振興協会
への委託を見直すべ

きた。

答 ルール違反はし
ていない。グレー商
品もない。振興協会
への委託は、第三セ
クターであるため委
託している。抗議の
件は議会終了後に記
者会見で町民に説明
したい。

水害水防対策は
計画性を

問 水害対策担当部
署は設置できたか。

下流地帯の水害対策
に遊水地、調整池事
業の推進を行うべき
だ。田んぼダムの進
捗状況は。ため池は
農業用水と水害対策
にも活用すべきだ。

約150ha取り組
み、来年度はさらな
る協力を頂く。上流
域は令和6年度まで
田んぼダム導入協力
金として2千円の県
補助があり、被害が
発生した場合は、復
旧費用の農家負担分
も補助がある。

ため池は、ため池
特措法に基づく国庫
補助金を活用し、28
か所の堤体の劣化状
況評価、豪雨耐性評
価及び地震耐性評価
を順次実施する。

問 先月8月22日
西日本新聞トップに
ふるさと納税の趣旨
を外れた返礼品とい
う町の品格を落とす
報道があり大変残念
だ。
町は5月に国の基
準以上に厳しい取り
扱いをする事業者選
定要綱を作成、町は
基準を満たしている
とのコメントだが、
新聞報道の真相を伺
う。

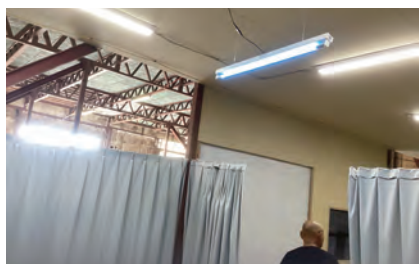
答 国が定める地場
産品基準第3号「区
域内において返礼品
等の製造、加工その
他の工程のうち主要



加工工程① 黒カビ防止加工



加工工程② 抗菌加工



加工工程③ 除菌加工

答 本年4月から担
当1名増員。浸水被
害の要因分析、遊水
地、調整池といった
貯水施設をはじめ治
水対策の協議を行っ
ていく。

田んぼダムは現在



田んぼダム



目野さとみ 議員



問

タクシー券の土曜利用可能にせよ

答

財政とのバランスを検証し考える

問 高齢者の移動支援は本年5月、買い物支援は7月よりスタート。「タクシー券の500円の補助は経済的に本当に助かっている。」「次の移動販売に欲しい物を持ってきてくれ、サービスがよい。」と喜びの声がある一方、課題もある。これまでの利用状況を伺う。

録者914人、利用助成券7482枚。利用目的、医療機関60%、商業施設25%、公共施設や金融機関・駅やバス停、それぞれ5%。午前中の利用が多い。

問 利用者より「品数が少ない」「公民館まで遠いので近くまで来て欲しい」「土曜日が通院、土曜日にもタクシー券が利用できるようにしてほしい」「等の声を聞いた。これから取り組む点や課題・方向性を伺う。

答 買い物支援は、週139名、売り上げは、週平均17万2077円、食料品のお買い求めが多い。移動支援は、利用登

録者914人、利用助成券7482枚。利用目的、医療機関60%、商業施設25%、公共施設や金融機関・駅やバス停、それぞれ5%。午前中の利用が多い。



は、利用者のアドバイスをいただきながら、場所と時間等巡回ルートを見直すために現在作業を行っている。今後とも利用者等の意見を伺いながら改善を図っていききたい。

移動支援では、利用者アンケートを行い、できること、できないこととの整理と財政とのバランスを検証し継続的な移動支援の実施及びサービスの向上となるよう取り組みでいききたい。

男性用トイレにサンタリーボックス設置を

問 前立腺がん患者の中には、手術後排尿コントロールが難

しく、頻尿や尿漏れに悩むようになり尿漏れパットを下着に貼って使われるようになる方が一定の割合で存在する。使用済みのパットは外出先に捨てる場所がない場合、家まで持ち帰られている。また、高齢者やトランスジェンダーの方も、困っておられる。ぜひ、男性用トイレへのサンタリーボックスの設置を進めていただきたい。

答 佐賀県においては県有施設に設置を進めていく考えが示

大災害を想定した避難訓練を

された。本町も、これらの報道を受け、設置を進める判断をした。現在、公共施設のトイレの数の調査、集計作業が終わった。今後、箱のサイズなどを調整し、購入手続きを進めていきたいと考えている。

問 みんなで決めて、みんなで逃げる、逃げ遅れゼロの町を目指し、防災意識を高める取り組みとして、大災害を想定した避難訓練を実施する考えはないか。

答 避難訓練の実施、防災意識を高める取り組みを進めていききたい。

令和4年度 町村議会広報研修会レポート

広報委員会に所属している私たち5名の議員（平野・西村・末次・武田・長瀬）は今後、より良い「議会だより」を作っていくために、9月21日（水）東京都千代田区にて行われた「広報研修会」を受講しました。

当日は西日本の各町村自治体の議員約500名が一堂に会し、4時間にわたっての集合研修が行われました。

研修は3人の講師がそれぞれ

- ① 絶滅危惧から持続可能な議会広報へ
- ② 住民に伝わる情報発信と広報紙作成のポイント
- ③ 優秀議会広報クリニック 3つの議会広報が教えてくれること

という演題で講演頂きました。

講演の内容もさることながら各種配布資料も充実しており、学びの多い研修でした。



特に、他自治体で実際に作成されている、議会広報を参考事例にした講演は、私たちみやき町の議会広報の比較をしながら聴講することができ、私たちが作成している議会だよりに不足している部分を理解しました。

今年の3月に新体制でスタートした私たち広報委員会は既存の議会だよりにとらわれずに、新しいアイデアを盛り込んでいきたいと活動しておりますが、今後、議会だよりの内容をもっと分かりやすくしたい、見やすいデザインにしていきたいと、改めて思いを強くしました。

すぐに大幅なリニューアルは難しいかもしれませんが、他の広報紙の優れた点は積極的に取り入れて、「みやき町議会だより」がもっと多くの方に手に取って頂けるようなデザインに刷新していきながら、議会のことを分かりやすくお伝えし、そして皆様に町政に関心を持って頂けるように創意工夫を重ねていきたいと思っております。



議員の横顔

全4回にわたって16名の議員の横顔に迫ります！
第2回目は表紙の4名です。

議席番号3番 長瀬 宣宏 議員



- Q. 若い頃の思い出は？
A. 陸上長距離で毎日15km～20km練習していた。
Q. 議員以外の仕事は？
A. 白石区長・農業
Q. 座右の銘は？
A. 七転八起
Q. 趣味は？
A. ゴルフ・カラオケ・ドライブ・スポーツ観戦

議席番号5番 武田 光邦 議員



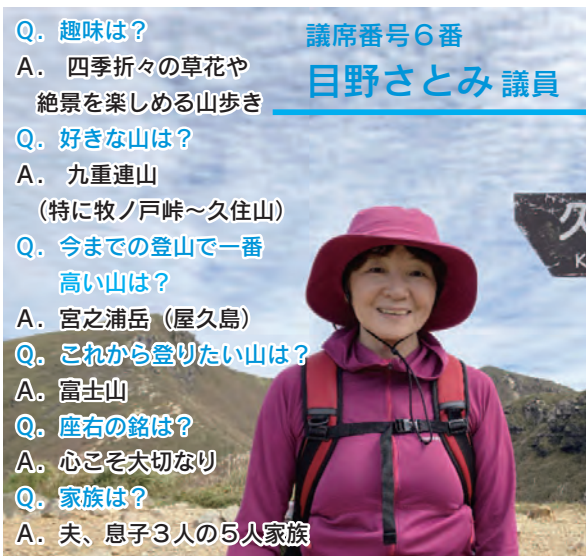
- Q. 武田家の家族構成は？
A. 妻、二人娘と孫（中一男子）の五人家族です。
Q. 趣味は？
A. 40代まで草野球チームで野球を楽しんでいました。また、シングルプレーヤーを目指しゴルフの練習に励んでいましたが、ハンデは12で断念。定年後は野菜作りに励んでおり、作業が終わってからの晩酌と、もうすぐサツマイモの収穫が楽しみです。

議席番号4番 吉村 哲雄 議員



- Q. 趣味は？
A. 名所・旧跡巡り
お宮・地藏さん巡り
Q. 議員以外の仕事は？
A. 地元の文化財保存や修復に力を注ぎ、地元の方と昔話を語り継いでいます。
Q. 車の運転は？
A. 車の運転ができなくなり、嫁さん孝行で妻とのドライブです。

議席番号6番 目野さとみ 議員



- Q. 趣味は？
A. 四季折々の草花や絶景を楽しめる山歩き
Q. 好きな山は？
A. 九重連山（特に牧ノ戸峠～久住山）
Q. 今までの登山で一番高い山は？
A. 宮之浦岳（屋久島）
Q. これから登りたい山は？
A. 富士山
Q. 座右の銘は？
A. 心こそ大切なり
Q. 家族は？
A. 夫、息子3人の5人家族

令和4年第4回定例会(12月)会期の予定

12月6日(火)～15日(木) 一般質問 8日(木)、9日(金)、12日(月)

本会議の開会時間は午前9時30分です。

※この会期日程等は予定であり、変更となる場合があります。

最新の日程はみやき町ホームページまたは議会事務局（94-5728）でご確認ください。

編集後記

広報編集委員会では、年4回の定例会後に議会だよりを発行しています。

議会終了後に審議された議案を委員で分担し、原稿を作り、議案や採決結果に加え一般質問の内容に間違いがないか、誤字脱字がないかを確認し完成しています。

今年度から議員の横顔を掲載するなど新たな試みも行っています。

委員長を中心に各委員、議会事務局、全力で取り組んでいますので、是非毎号お読みください!! (末)

◎広報編集委員会

委員長	平野 達矢
副委員長	西村健一郎
委員	末次 優
委員	長瀬 宣宏
委員	吉村 哲雄
委員	武田 光邦